

診療所だより

牛が教える「性教育」

私が学生だった頃、ある先生が、「動物の中で、一年を通して発情するのは、牛と人間ぐらいなものだ」と言って笑っていたのが記憶にあります。

そうか、犬や猫とかは年に一回か二回の発情期に交尾するぐらいなのに、牛と人は「一年を通している」と妙に納得したものでした。しかし、最近間違いに気づきました。

牛は約二十一日周期の発情で、一年間で雄を（授精を）受け入れるのは約十七回、人は約二十八日の周期として約十三回、確かに牛は年十七回ですけれども人は十三回で済むでしょうか？

正解は「牛は一年をとおして、人は年がら年中発情している??」

そんな訳で今回は牛の発情についてです。いくら人間と性周期が似ているからと言ってあまり「性教育」にはならないかも??

まず牛の発情兆候から

- ・ 咆哮（鳴くこと）
- ・ 乗賀（乗ったり乗られたり）

（雌×雌又は雌×雄）

- ・ 外陰部は光沢をおびて腫れぼったくなる
- ・ 外陰部から透明な粘液
- ・ 陰部を嗅いだり嗅がれたり

- ・ 等々

これは周期的に卵巣から分泌される発情ホルモンの影響によるものが大です。私達が、農家の庭先で、「いつ乗った?」「いつ鳴いた?」「陰部は腫れた?」「粘液は出した?」という会話をよくするので、発情がいつあったかと聞いているのです。

この会話を人ごみの中でしると言われても、決して出来ません。場所が場所なら「セクハラ」と言われますね。

女性職員が「牛が発情して粘液出してる」と農家から電話を受けて、真っ赤にたこと

乗駕行動（乗る）

がありました。でも、最近ではたいていの話にはついて行けるほど完全に染まってしまいました。



写真が乗駕行動です。通常は、雄が雌に乗るので、これが雌に乗っています。

現在は人工授精になって雌に乗れる雄はほとんどに希です。発情期にはこのように乗りつ乘られつの行動が見られます。

ここで、問題です。この写真では、どちらの牛が受精適期でしょうか？

正解は、下の牛が乗られて嫌がらず、じっとしていれば適期です。嫌がるようならまだ少し早いか、すでに発情が終了しているかです。上に

乗っている牛は発情かどうかは判断できません。

陰部の変化



右が発情期、左の写真がそのうでなるときは腫れ発情期には腫

れて光沢がでています。下の写真は、発情と発情の中間、あるいは妊娠した時の状態です。「種付けしたが、陰部がしまっている」と言いますが、これは「もしかしたら妊娠しているかもしれない」と同じ意味です。